

テーマ

出雲市灘分・檜山・東・伊野地区ふるさと探訪

～ふるさとを知り・ふるさとを考える～

| | |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 事業実施地区（中学校区名） | 出雲市立向陽中学校 |
| 事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等） | 灘分コミュニティセンター、檜山コミュニティセンター 東コミュニティセンター、伊野コミュニティセンター |

テーマの背景

向陽中学校校区内にある4地区は出雲市の東部にある。今までふるさと教育はそれぞれの地区で行われてきたが、4地区全体として考える機会はなかった。そこで今を生きる私たちはふるさととどう関わるのか考えることを目的として4地区と学校が一体となってふるさと教育を行うこととした。

実際の取組

④ふるさとの魅力や価値に気づき、理解を深める学びの場を設定

事業名：ふるさと探訪

<取組の概要>

大人から子供までが一同に4台のバスを連ね、何世代にわたって開拓された国土や営々と守り築きあげられた自然、歴史建造物など、各地区のふるさとを知る上でキーとなるポイントを訪ね、地元の有識者から、その土地にまつわる伝承や先人たちの想いを聴いた。

探訪箇所

（灘分地区）水利施設

（檜山地区）虹が滝・多久神社

（東地区）佐香神社・一畑寺坂下

（伊野地区）伊努神社・牛の首



水利施設での説明



佐香神社での説明

<成果と課題>

地元有識者からの説明により、その場で営まれた先人や先駆者の取り組みを丁寧に学んだので、大人たちは歴史や先人たちの想いをくみ取ることができた。

子どもたちには物語風にした解説やイラスト・漫画を取り入れた資料が効果的であった。

⑤ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守って行く活動の実施

事業名：ふるさとマップ作成

<取組の概要>

ふるさと教育に役立ててもらうためにふるさとマップをCD版にデータ化し、向陽中学校校区内の中学校・小学校及びコミュニティセンターに配布するとともに、地区住民にマップを全戸配布した。



ふるさとマップのCD



ふるさとマップ

<成果と課題>

4地区の厳選したふるさとのポイントが写真を添えて掲載しており、伝承や歴史が一目で分かるマップとなっているので、今後のふるさと教育に活用できる。

子どもたちが、自らのふるさとマップを作成し、その成果を地域の人たちに発表してくれるなどの波及効果が期待できる。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

「ふるさと探訪」として現地に立ち、現地説明者から詳細な由来や歴史を学べたことは、強烈なインパクトがあり、参加者の胸に大きな影響を与えることができた。

ふるさと教育には、それぞれがふるさとをどう考えるのかを意識して学ぶことが重要であることが分かった。

今後の展望

従来は地区のふるさと教育やマップを作成してきたが、これを広域で取組むことによって、それぞれの地区の特色や現在のありようがより良く認識できた。このようにいろいろなことと関連づけて学ぶことによって、ふるさとに愛着や誇りを持ち、ふるさとの将来がどうあってほしいのか、そのために何ができるのかを考える人たちを増やしたい。